ＡＤＰ－００１

取扱説明書

AVOX ＤＶＤプレーヤー

安全にお使い頂く為に

左記表示の三角形の表示マークは使用者に対しての注意を意味しています。本体内部に触れると感電の恐れのある高電圧の絶縁されていない部分の存在を表します。

取り扱い説明書中の左記表示の三角形の表示マークは使用者に対して重要な操作及び保守に関する説明を表します

警告　本機を雨や湿気にさらさないでください。火災や感電の危険があります。本体ｶﾊﾞｰを開け分解しない事。高電圧の部分があり感電の原因となり大変危険ですので、サービスマン以外は絶対に分解をしないでください。

注意　電源プラグは、完全に差し込んでください。

ＤＶＤプレイヤーはレーザ装置を使用しています。レーザビームからの直接の危険を避ける為、本体カバーを開けようとしない事。開けてインターロックが外れた場合、レザー光線が照射され危険です。性能の制御及び調整の目的以外では絶対に本体カバーを開けないでください。レザー光線照射の危険にさらされますのでおやめください。

レーザー光線をのぞき込まないでください。レーザー光線が目に当たると失明などの視力障害を起こすことがあります。安全にお使い頂く為に、本説明書をよくお読みいただき、説明書は大切に保管下さい。修理の必要な場合は修理専門店にお持ちください。サービスマン以外は本体カバーを外さないで下さい。FC C 注意、FC C 規則第１５項に規定された、デジタルデバイスクラス B 規格に対する限定規定を満たすようにテストされ確認されています。これらの規制は家庭内での取り付けの際の電波障害を防ぐ事を目的としています。この装置は電波を発生する可能性があり、説明書に従わない使用の場合は、電波通信の障害の原因になります。又、通常の使用で電波障害が起こらなと言う保証ではありません。もしもこの装置がラジオやテレビの受信障害の原因である場合は電源をお切り頂き、下記の何れかの方法で修正できます。

・受信アンテナの向きや設置位置をかえる。　・受信機と本体の距離をはなす。

・ ラジオ/テレビ技術者に相談する。　・テレビまたはラジオとは別の回路にあるコンセントに装置を接続する。

FC C 警告！　継続的に FC C ルールに適合する為に（例・コンピュータや半永久な装置に接続するときは、シールどされたインターフェースケーブルのみを使用）FC C 規則適合機関で、認められている変更や修正を本機に実施している場合は、本機を使用することができません。

地域コードに関して　ＤＶＤが世界の異なる地域に発表されて以来、全てのＤＶＤプレーヤーには地域ごとの異なるリージョンコードが与えられています。またディスク自体にも同様リージョンコードがつけられ、これによりＤＶＤプレイヤーのコードとＤＶＤソフトのコードが一致しないと再生できない方式になっています。日本のリージョンコードは 2 番で、ＤＶＤソフトは 2 番と表記されたディスクをご使用いただけます。

本機種の品番及び型番は背面に記載されています。

安全に関する情報　使用，調整、性能に関する方法の説明をよくお読みください。誤った取り扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示します。この取り扱い説明書をよくお読み頂き、取りつけ及び操作に関し内容を良くご理解ください。また取り扱い説明書は何時でもご利用できる場所へ保管ください。

１　本機を操作される前に安全及び操作方法を全てお読みください。

２．安全と操作に関する説明書を保存保管ください。

３． 本体に貼られている注意事項や説明文のシールを剥がさないで下さい。

４． 全ての操作は操作説明書に従いおすすめ下さい。

５．クリーニングをされるときは必ず、製品の電源がプラグから抜かれた状態で行ってください。液体及び噴霧質の洗浄剤は使用しないで下さい。クリーニングの際は、軽く湿らせた布でクリーニング下さい。

６．本機に後から、市販のＡＶ関連アクセサリーなどを取りつける事は危険ですのでおやめください。

７.水の近くや湿度の高い所で本製品を使用しないで下さい。（例・浴槽の近くキッチン水周り、湿度の高い地下室など）

８．本機を不安定なスタンド、三脚、棚、またはテーブルの様な場所に設置しないでください。落下による子供や大人への人体の重大傷害を負う可能性ならびに、本機故障の可能性が想定されます。必ず安定した場所に設置してください。不安定なスタンド、三脚、棚、またはテーブルの様な場所に設置する場合は必ず市販の固定用の器具などで、しっかり固定しご使用ください。ご使用方法は固定器具の説明書をご参照ください。

９．本機を乗せた台を移動させる時は転倒の原因になりますので、平たんな場所をえらび、注意をはらって移動し急に止めたり、過度な力を加えないで下さい。

１０．換気に関して、本体の格子状の穴は本体の熱を逃がす為の換気口です。ふさいだり、カバーをかぶせないでください。本体をベッドやソファーまたは布の上に絶対に置かないで下さい。換気口をふさぎ火災の原因になります。

１１．電源に関して、火災などの危険を避ける為、本機は必ず電源ラベルで表示されている環境でご使用ください。（交流１００ボルト、電源周波数は５０Ｈｚ/６０Ｈｚのいずれかの地域）なおご自宅の電源タイプが解らない場合は、電力会社にご確認下さい。

電源コードの保護に関して 漏電や火災の原因になりますので、次の事を必ずお守りください。電源コードに重いものを載せたり、折り曲げたり、また引っ張ったり、高温になる場所に近づけない事。コードの絶縁部分がむけ危険です。電源コードを抜く際は、必ず電源プラグを持ち抜いてください。電源コードに傷やひびのある場合は電源を抜き電気店にご相談ください。万一、煙、異臭、通常と違う異なる音を聞いた場合は、すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてください。煙が出なくなる事を確認して販売店に修理をご依頼ください。その状態で使用しますと火災や感電の原因になります。

１２． 室外アンテナアースに関して、室外アンテナまたケーブルテレビシステムが本製品に接続されている場合は、高電圧や静電気の帯電による危険を防止する為にアンテナ及びケーブルにアースをしてください。

１３． 雷や嵐の時または、長期間ご使用されない場合は、感電や火災を避けるため必ず電源を抜いてください。

１４． 室外アンテナを設置される場合は電気店にご相談ください。

１５． 延長コードを使う時は、必ず差し込み器具の最大消費電力をご確認下さい。タコ足配線などの誤った接続方法は、コンセント及び延長コードに電気的負担がかかり、火災や漏電などの事故の原因になりますのでおやめください。

１６．異物や液体が入らないように本体の上に花瓶、植木、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器やアクセサリーなどの小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、本体の中に入った場合は、感電や火災の原因になり大変危険です。

１７．自分で修理しない事。ふたを開けたりしますと高電圧の部分があり、人が死亡または、重傷を負う可能性がありますので、絶対おやめください。修理の際は必ず資格を持った専門家が行い、メーカー指定の純正部品をお使いください。

保証期間内のサービスに関して

１．取り扱い説明書、本体貼付のラベル等の注意書に従って正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日より1ヵ年以内に限り販売店又は，弊社が無料修理致します。

２．保証期間内に無料修理をお受けになる場合は、本製品と販売店印のある保証書をご持参のうえ、お買い上げの販売店又は弊社にご依頼ください。なお、離島及び離島に準ずる遠距離へ出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。

３．保証期間内でも、次の場合には、有料修理になります。

イ）　使用上の誤り又許可を得ていない不当な改造や修理にる故障や損傷

ロ）　販売後の移動及び落下による故障

ハ）　地震，水害、落雷、ガス害、塩害、その他の天災地変、公害及び異常電圧による故障または損傷

ニ）　接続しているその他の機器に起因する故障及び損傷

ホ）　異常消耗、異常破損を除き、自然消耗とみなされた消耗品の故障及び損傷

へ）　指定以外の使い方、特殊な使用による故障及び損傷

ト）　本書の提示及びお買い上げ年月日及び販売店印のないものまたは、偽装やコピーされた保証書

チ）　本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)

4.．交換部品に関して、交換部品が必要な場合、技術者はメーカーの純正交換部品の取り扱い説明書に従い指定された純正部品をご使用ください。指定純正部品以外を使うと火災の原因及び感電その他の危険につながりますのでおやめください。

5. 安全確認に関して、修理を依頼される時は専門家に修理が必要であるかご確認下さい。

6. 壁または、天井へ取り付ける際は専門店にご相談ください。

7. 本機をラジエーター、温風器、ストーブなどの熱を発生する器具の近くに置かないでください。

保証期間が過ぎている場合の修理

修理により、使用できる場合は、ご希望により、修理させていただきます。修理料金には、下記内容が含まれます。技術料・部品代・出張料（出張サービスの場合）

製品の特長

本機はデジタルビデオディスクユニバーサル DV D ビデオ規格に適合しています。DVD ならではの高品質な映像と別売りの機器を組み合わせる事により、マルチチャンネルサウンドをご体感頂けます。また設定は、スクリーン上で確認しながらリモコンで行えます。便利な機能として、音声トラックの選択、及びサブタイトル表示の言語選択、カメラアングル切り替え機能（再生ディスクが対応の場合のみ）、Dolby Di gital／DS T 用のデジタル音声出力端子、ペアレンタルコントロール機能（教育上子供へ有害な映像の規制）、CD 再生機能及び MP3 フォーマットのディスク再生機能などをそなえています。

下記のマークのディスクが再生可能です

開封　DVD ビデオプレイヤーを箱からお出し頂く前に下記の物が入っているかご確認ください。

・DV D ビデオプレイヤー1 台　　・リモートコントロール 1 台　・取り扱い説明書　1 冊

・単３形電池 2 本（テスト用）　・ピンコードケーブル　映像用１本（黄色）・音声用１ペアー（赤、白）

・梱包内容が上記内容と異なる場合は販売元にご確認下さい。

・ また、梱包材及びパッケージは保管し持ち運びや修理を依頼される際ご利用下さい。

DVD プレイヤーの設置場所

A）表面が平らなところへ設置下さい

B）ラジオや VCR の近くに置かないで下さい映像が乱れたり画質が低下します。その様な場合は、ラジオや VCR から本械を離してください。

C）キャビンネットの中に設置する場合は、こもった熱を逃がす為本体の周りに 2.5 ｃｍ以上のスペースを必ずお取り下さい。

D）窓を閉めきった自動車の中また、直射日光の当たるような場所に置かないでください。ボディー内部の精密機器に悪影響を及ぼし、火災や、事故の原因になります。

高画質を手に入れる為に

DV D　VI DE O　プレイヤーは精密機器です。本機のピックアップレンズ及び周辺部品が汚れたり磨耗しますと映像の低下につながります。操作環境により異なりますが、1,000 時間ごとの保守定期点検をお勧めしています。ピックアップレンズのクリーニングは市販の専用クリーニングディスクをご利用ください。

ディスクの取り扱い

取り扱い

・ ディスクの再生面を手で直接触らないでください。

・ディスクにテープや紙などを貼らないでください。

注意！ディスクのダメージに関して弊社は責任を負いかねます。

ディスクは各々のディスクに書かれている保管法に従い正しく保管ください。

ディスクのクリーニング方法

・ ディスク上の指紋などの汚れは映像及び音声の低下につながります。クリーニングは図の様に柔らかい布で円盤の内側より外側に向かう様にふき取り、ディスクは何時でもきれいな状態でご使用ください。

・よごれのひどい場合は、軽く水を染みこませた柔らかい布でおふき取り下さい、その後乾いた布でおふき取り下さい。

・ シンナーやベンジンなどはご使用にならないでください。クリナーをご使用の際は、市販の専用のディスク用クリナーをお使い下さい。

ディスクの保管

・高温多湿をさけ保管し、直射日光や高温になる物の近くには保管しないで下さい。

・ディスクは縦向きで保管下さい。積み重ねて保管しますと、ｹｰｽや円盤のそりの原因になりますのでおやめください。

リージョンコードに関して　DVD はリージョンコードで分類されています。日本はリージョンコード 2 番で 2 番のマーク表示のＤＶＤディスクをご覧頂けます。

テレビ方式　本機は NTSC 方式及び PAL/3.58 方式のテレビに対応しています。

本機は下記表のディスクが再生可能です

	内容	ディスク外寸	最大再生時間
DVD video disc (DVD VIDEO)	Audio + Video	12cm （片面ディスク）	約 4 時間
DVD video disc (DVD VIDEO)	Audio + Video	12cm （両面ディスク）	約８時間
Audio CD (disc DIGITAL AUDIO)	Audio	12cm	74 分
Audio CD (disc DIGITAL AUDIO)	Audio	8cm	20 分
MP3 CD (MP3)	Audio	12cm	圧縮方式により異なる
Kodak Picture CD (Kodak PICTURE CD COMPATIBLE)	Picture	12cm	

目次

各部の名前

本体フロントパネ

㈰　電 ON/OF ボタン　㈪　トレー開閉ボタン

㈫　再生ボタン　　　㈬　ストップボタン

本体背面パレル

㈰　アナログオーディオ出力（右）　　㈪　デジタル同軸オーディオ出力端子

㈫　S-VIDEO 映像出力端子　　　　　㈬　アナログオーディオ出力（左）

㈭　ビデオ出力端子電源コード　　　　㈮　電圧コード（１００V、５０/６0Hz）

⚠・**リモコンの電源ボタンは、スタンバイ用ですので、**
電源を入れるときは、必ず本体の電源をお入れください。

⚠**ミュートボタン**はプレイヤーからの音声をカットします。**メニューボタン**を押すとディスク最初のメニュー画面に戻ります。**ボリュームボタン**は音量を調整します。**テレビモードボタン**を押しますとパススキャン４：３/レターボックス４：３/ワイド１６：９の画面表示に切り替わります。

４：３パススキャン：標準画面比率４：３に収まる様にトリミングしたワイドフォーマット画像を表示します。
この場合両端をカットした映像になります。

４：３レターボックス：ワイドフォーマット画像を全画面表示します。黒色の帯が画面上下に表示されます。

１６：９のワイド：ワイドテレビにワイドフォーマット画像を全画面表示します。

お使いのテレビの設定により上記内容と異なることがあります。詳しくはお使いのテレビ説明書
をご参照ください。

“✋”画面に手のマークが現われている場合は、操作はできません。

DVD リモコン各名称

１．電源

（ ７ページ ）

２．数字ボタン

（ 15，18 - 19，24，28 ページ ）

３．シャッフルボタン

（ 21 ページ ）

４．ＰＲＯＧＲＡＭ

（ 24 ページ ）

５．ｋｏｄａｋ T.E

６．レジューム

７．スロー

（ 17 ページ ）

８．ステップ

（ 16 ページ ）

９．セットアップ

（ 30 - 31 ページ ）

１０．オーディオ

（ 23 ページ ）

１１．メニュー

（ 26，28 ページ ）

１２．ダイレクションキー

（ 18 - 19 ページ ）

１３．エンター/プレー

（ 14 - 19 ページ ）

１４．ポーズ

（ 15 ページ ）

１５． スキップ フォアード/バック

（ 16 ページ ）

１６．オープン/クローズ

（ 15 ページ ）

１７．ボリューム アップ/ダウン

１８.リピート

（ 20 ページ ）

１９．A-B RPT ボタン

（ 20 ページ ）

２０．ミュート

（ ７ページ ）

２１．GOTO

（ １9ページ ）

２２．クリアー

（ 24 ページ ）

２３．ディスプレイ

（ 29 ページ ）

２４．TV モード

（ ７ページ ）

２５．ズーム

（ 22，28 ページ ）

２６．P/N

（ 8 ページ ）

２７．アングル

（ 23 ページ ）

２８．SUB-T

（ 25 ページ ）

２９．タイトル

（ 18 ページ ）

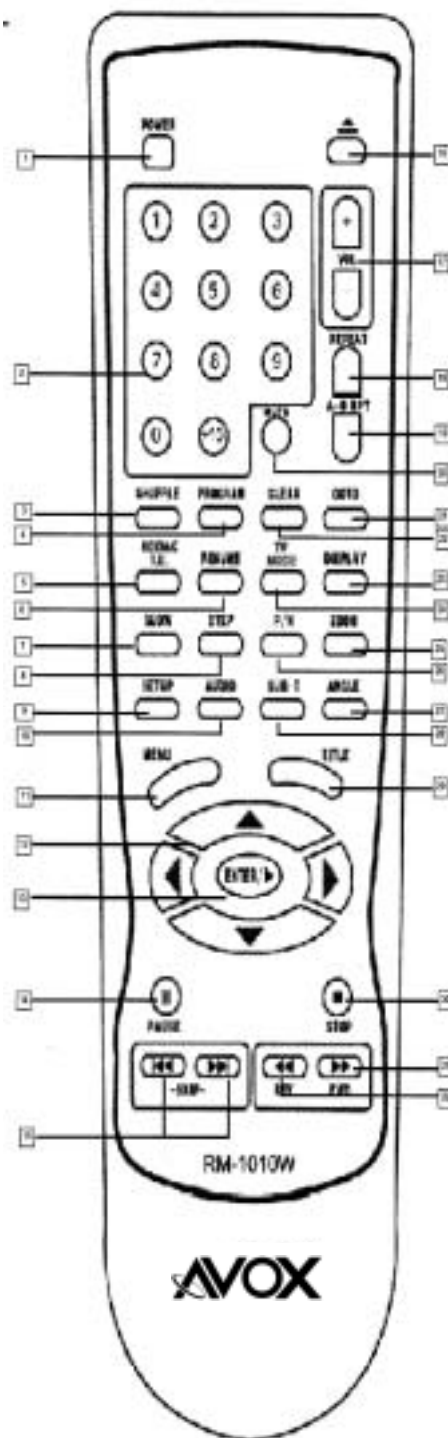
３０．ストップ

（ 15，17，24，30 ページ ）

３１．フォアードスキャン

（ 15，16，28 ページ ）

３２．リバーススキャン

（ 15，16，28 ページ ）

リモコン拡大図

リモコンに関して

リモコンの準備

本機を操作される前に電池をリモコンに入れてください。

㈰ 電池のいれ口のふたを開けます。

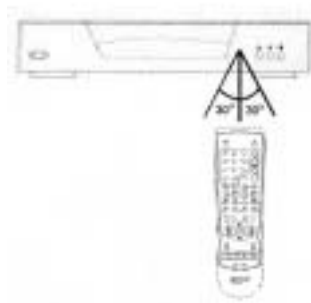
㈪ 単３のサイズの電池を
２本入れます。

㈫ 電池のふたを閉じます。

リモコンによる操作

距離　：リモコンで操作される場合はリモートセンサー前から７ｍの範囲

操作角度：リモートセンサーの前から 30 度の角度

・

DVD プレイヤーのリモートセンサー部分は直射日光や、強い光源が当たらないようにしてください。

⚠付属されておりますリモコン用電池は、テスト用ですので、お早めに、新しい電池に入れ替えてください。

⚠バッテリに関して、間違った方法で使用しますと液漏れ腐食または、爆発の恐れがあります。

・ 電池のプラスとマイナスの向きを確かめ正しくいれてください。

・ 大変危険ですので、充電/加熱/分解/ショートをさせないでください。

・ リモコンの電池は、古いものと新しいものを一緒に入れないでください。

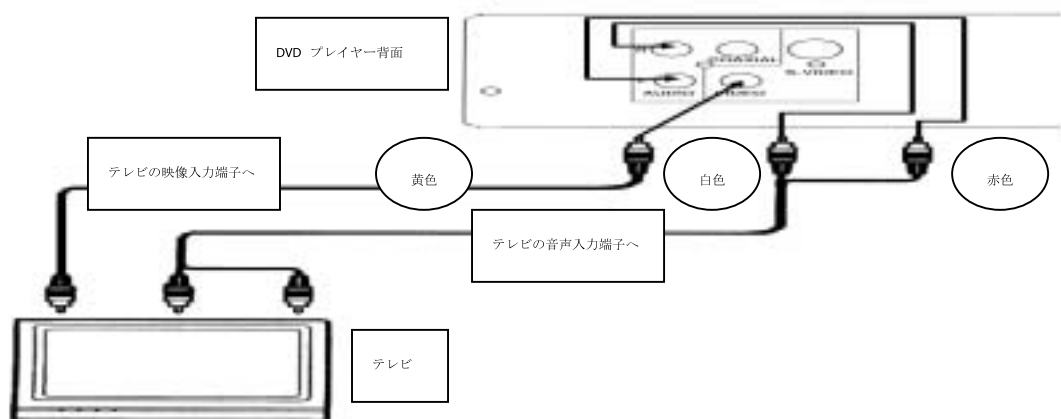
・ 長期ご使用されないときは、電池を取り外してください。

・ リモコンの操作距離が短くなった場合は、早めに電池の交換をしてください。

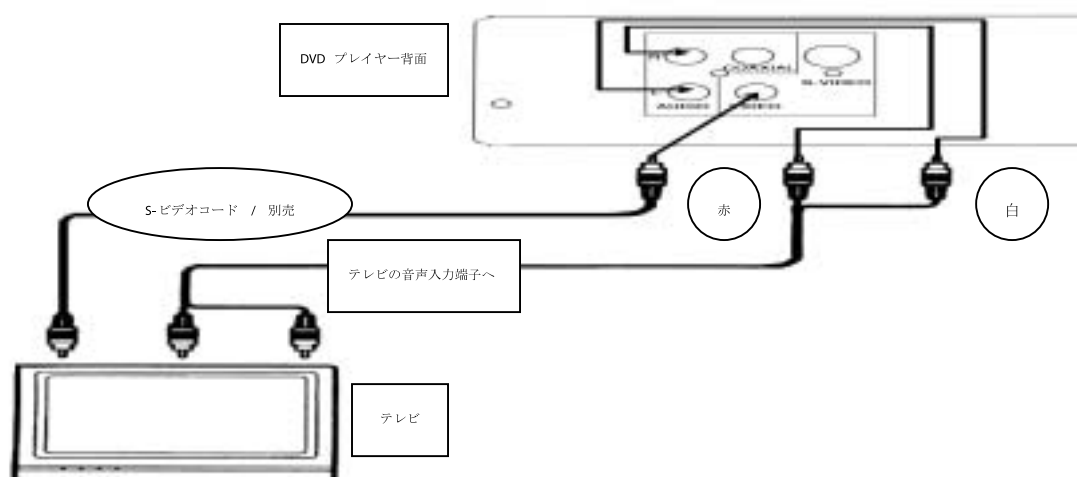
. 液漏れをしている場合は、電池を取りだし新しい電池にご交換ください。

本体とテレビの接続

ピンプラグコードによる接続　セツトアップメニューよりＧＥＲＥＲＡＬ　ＳＥＴＵＰ（ジェネラルセットアップ）を選択し、ＥＮＴＥＲ（エンター）ボタンを押します。ＡＵＤＩＯ　OUT（オーディオアウト）を矢印キーを使いＳＰＤＩＦ／ＲＡＷに選択します。

ピンコードによる配線接続図

Ｓ－コードでの配線接続図　（高画質）

先端のプラグが黄色いケーブルの片側を本体の映像出力端子（黄色/VIDEO）に接続し残りの片方をテレビの映像入力端子（黄色）に接続します。同じように本体の(赤/AUDIO)と（白/AUDIO）のコードも接続します。S-ビデオ入力端子付きのテレビをお持ちの場合は、より良い画質でお楽しみ頂けます。Sーケーブル（市販品）をビデオ映像ケーブル黄色の変わりに接続します。Sーケーブの片方を本体 S-VIDEO 端子に接続し、もう片方をテレビの S-VIDEO 入力端子に接続します。

⚠

・映像端子はＳ－ケーブルか通常映像ケーブルのどちらか一方を選択してください。

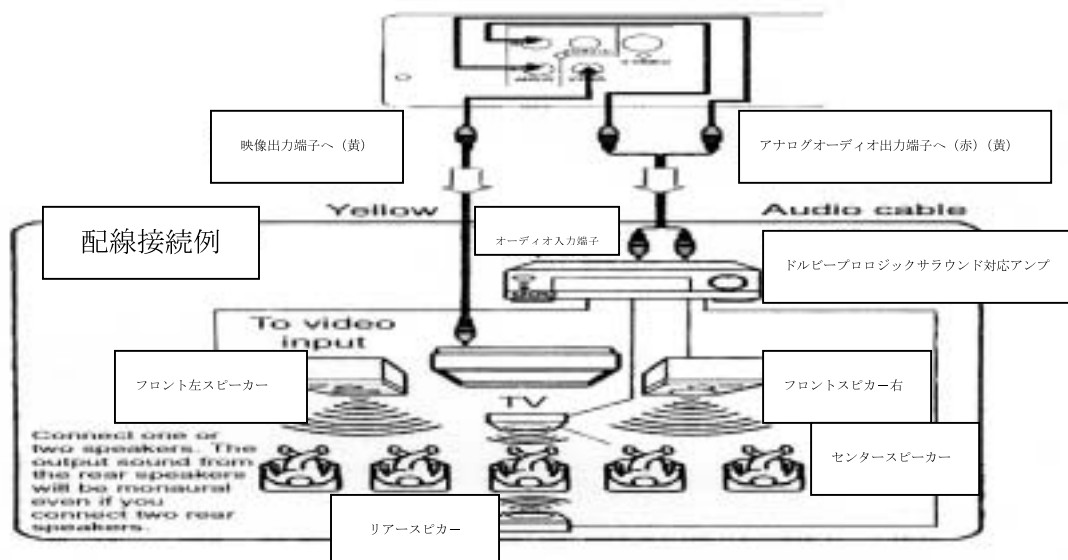
・ 接続の際は接続するテレビの取り扱い説明書をご参照ください。

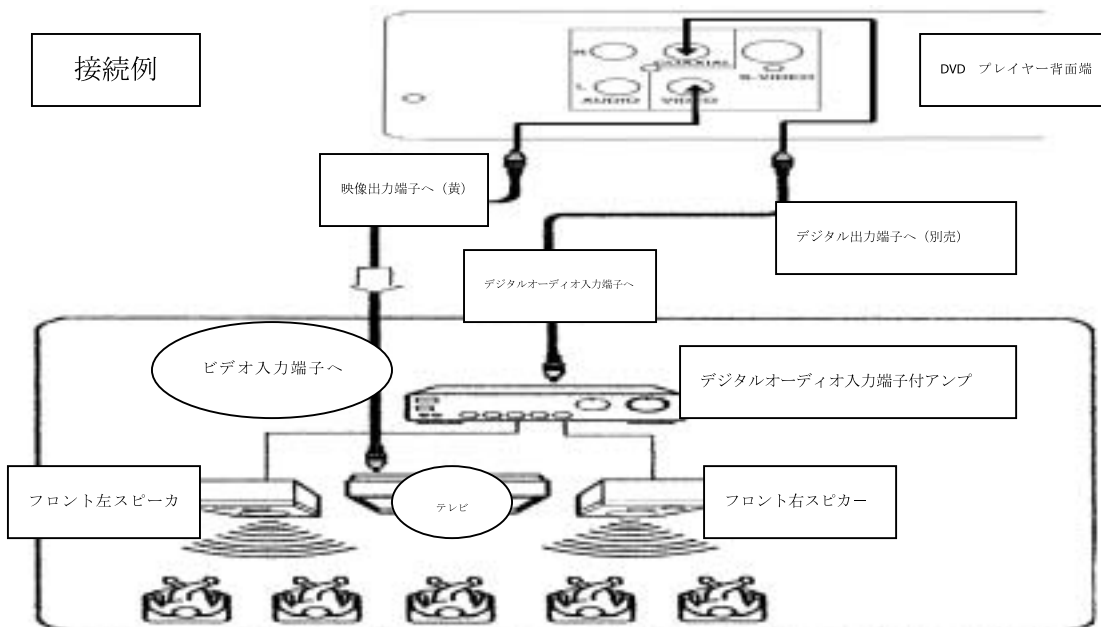
・ ビデオ入力端子を持たないテレビに接続されている場合は RF アダプターをお買い求めください。

・ DVD プレイヤーをビデオデッキに接続されている場合は、コピーガード機能が働くため正常に再生されません。

オプション装置との接続方法

ドルビープロロジックサラウンド

右左の前面スピーカーと 2 個から 3 個のリヤースピーカー及びセンタースピーカーにより構成されたサラウンドシステムです。お楽しみ頂くには,専用の対応システムオーディオが必用です。

デジタルステレオサウンド

左右の前面スピーカーで構成されたサウンドシステムです。再生の為には、専用の対応システムオーディオが必用です。

⚠オーディオ出力選択を対応のレシーバーに接続する以外は、Dolby Digital/DTS 出力を選択しないでください。突然大きい音が出て、スピカーだけではなく聴覚に影響を与える恐れがあります。また、接続が終了するまで、電源はいれないでください。接続の際は音声のダイナミックレンジが広いので、スピーカーへのダメージを避けるために最適な音量にご調整ください。

オプション装置との接続方法

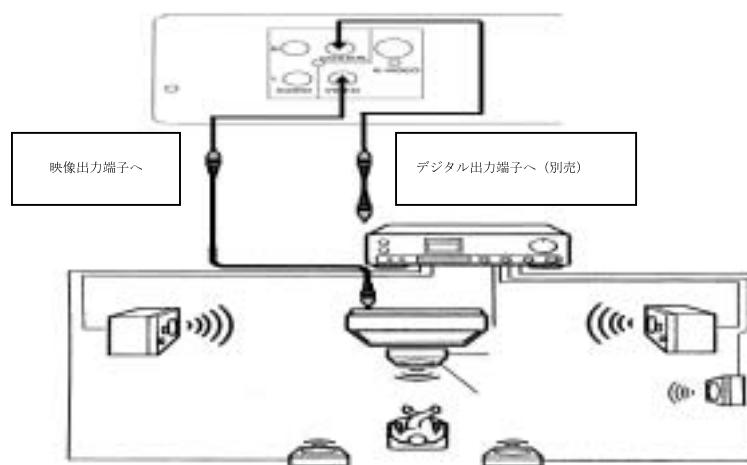
ドルビーデジタル及びDTS

ドルビーデジタルとDTSプログラムは、５つの独立したチャンネルとサブウファー用のチャンネルで構成されています。これらのサウンドは、対応したサウンド装置に接続するとお楽しみ頂けます。

音声出力の設定方法

リモコンのENTERボタンを押します。メニュー画面になります。

セットアップメニューよりGENERAL SETUPを下方向の選択キーを押し選択します。

つぎにAUDIO OUTPUT を SPDIF/RAWに選択します。

著作権上のメモ

ディスクを無断で複製、放送、公開公演、無許可でレンタルすることは、法律により禁じられています。本製品は著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部鑑賞用に制限されています。また分解及び改造する事も禁じられています。ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションから実務権にもとづき製造されています。-----“DOLBY”、“AC-3”やダブルＤ 記号は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。Confidential Unpublished Works. 1992-1997 Dolby Laboratotories,Inc All rights reserved.

“DTS”および “DTS Digital Out”はDigital Theater Systems,inc.の商標です。

注意！本製品のPCM/BITSTREAMジャックをドルビーデジタルレシーバーのAC-3 RF入力端子に接続しないでください。Dolby Digital/DTSレシーバーまたはプロセッサーのDIGITALまたはCOAXIAL入力端子に接続します。AC-3 RF入力端子とPCM/BITSTREAMジャックはコンバーチブルではありません。また主としてそれはレーザーディスク用です。

取りつけの際本製品の接続されているテレビの取り扱い説明書をご参考ください。スピーカーへのダメージをさける為にアンプのボリュームを適度な再生レベルに調整し、また端子の接続や、取り外しの際はスピーカーへのダメージをさける為に、アンプの電源をお切りください。

MP3 に関して

MP3 は新しいタイプの音楽ファイルのフォーマットで、インターネット上の MP3 ウェーブサイトなどを通じてご利用できます。尚、本製品は MP３オーディオファイル形式で録音した CD-R に対応しています。

MP３フォーマット形式で記録された CD の再生方法

MP3 の異なったモードでの再生

※　FOLDER　（通常再生）

※　REPEAT　ONE　（一曲リピート）

※　REPEAT　FOLDER　（特定ホルダーのリピート）

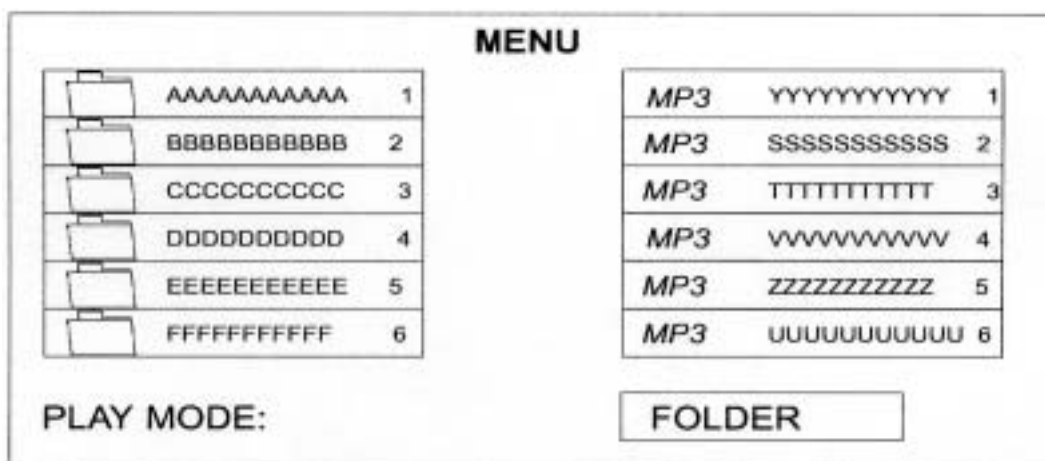
※　SHUFFLE　（ランダム再生）

MP3 の操作　MP３フォーマット再生方法

１．再生するには、テレビ画面上で確認しながら操作をする必要があります。MP3 CD をＯＰＥＮ/ＣＬＯＳＥボタンを押し、出てきたトレーの上に乗せ再度同じボタンを押します。DVD プレイヤーのトレーが閉まると、イニシャライズが始まり,下記のような MP3 メニューが表示されます。

２．＜/＞をハイライトプレーモードを選択する為に２回押します。次に∧/∨をプレーモードを選択する為に各々の方向へ押します。(REPEAT /SHUFFLE / etc) 次に＜/＞を２回押し次に MP３（音楽）ファイルのハイライトを選択する為に下方向キーを押します。選択した音楽リストのハイライトを確認するために、ENTER ボタンをおします。次に下方向

キーでご希望のハイライトを確認します。

３．MP3 ファイルを選択する為に ENTER ボタンを押します。早送りでトラックを飛ばす場合は、早送り、⏭ または早巻き戻しボタン　⏮　を押します。メインメニューに戻る時は、STOP キーを押してください。

⚠　画面左上には、ホルダーの名前が表示されます。場面右上には曲名およびホルダーが表示されます。□の表示は、フォルダーを意味し、MP3 ファイルではありません。最大 11 キャラクターの使用がホルダーまたは、曲で使用可能です。ランダム再生はホルダーのみで使用可能です。

ディスクの再生

DVD ビデオの再生方法

・ テレビの電源を入れます。DVD プレイヤーの接続されているソースを選択します。

お手持ちのオーディオシステムの電源を入れます。

次ぎに本製品のオーディオ出力設定機能で、SPDIFT/RAW に設定します（DolbyDigital や DTS 再生に必用な装置をおもちでない場合）

１． フロントパネルの POWER（電源）ボタンを押します。

２．OPEN／CLOSE ボタンを押します。

３．ディスクトレーにディスクを乗せます。

４．ENTER/PLAY ボタンに関して、ディスクトレーが閉じると自動的に再生が始まります。

CD を再生する場合は、PLAY ボタンを押してください。

再生したいディスクの再生が自動的にスタートします。

⚠ **ディスクはディスクトレーに正しく乗せ開閉操作をしてください。ディスクトレーの開閉は OPEN/CLOSE ボタンで必ず操作してください。それ以外の方法で行いますと、本体及びディスク故障の原因になります。**

ディスクの再生

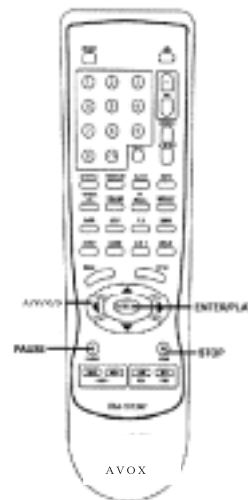
高画質で映像をご覧頂く為に

ＤＶＤをご鑑賞されている時ノイズが気になる場合は、テレビのシャープネスを下げると落ちついた画像になります。またノイズはＤＶＤプレイヤーの接続されているテレビの性能にも左右されます。

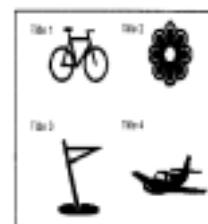
DVD,CD に関して

DVD,CD アイコンが表れます

DVD：Audio　CD s

CD:　早送り早巻き戻しはリモコンの FWD/REW ボタンを押します。

メニュースクリーンの再生スタートの方法

１．＜/＞∧/∨ボタンまたは、数字ボタンを押しタイトルを選択します。

２． ENTER/PLAY ボタンを押すと選択したタイトルを再生します。

再生一時停止の方法

再生中に PAUSE ボタンを押します。通常再生に戻すには、PAUSE ボタンまたは、ENTER/PLAY ボタンを押します。

ディスクの取りだし方法

OPEN/CLOSE ボタンを押すとトレーが開きます。

ディスクを取り出し、再度 OPEN/CLOSE ボタンを押し閉ます。

再生の停止の仕方

STOP ボタンを押します。

通常再生に戻るには ENTER/PLAY ボタンを押します。

STOP

⚠ メニュー画面を長時間テレビに映し出していますと画面焼けの原因になりますので、映画が終了したら STOP ボタンを押しましょう。

ディスクの再生

本製品は下記のスピードでスローモーション再生する事が可能です。

高速再生方法

本製品は下記の異なったスピードで再生する事が可能です。

２倍速　４倍速　８倍速　１６倍速　フレームからフレーム　スローモーション　ラストプレー

２倍速　４倍速　８倍速　１６倍速　スピード再生の操作方法

２倍速　４倍速　８倍速　１６倍速で再生できます。

再生ちゅうに REV または、FWD ボタンをおします。

再生スピードが２倍速になり、REV または、FWD ボタンを押すごとに変化します。

REW:早巻き戻し　２倍速　４倍速　８倍速　１６倍速　通常再生

FWD：早送り　２倍速　４倍速　８倍速　１６倍速　通常再生

通常再生の場合
エンターボタンを押します。

通常再生に戻すには、ENTER/PLAY ボタンを押します。

⚠再生中は音声および、タイトルは表示されません。また上記の再生速度は、おおまかな数字で、厳密ではありません。

フレームごとの再生

再生ちゅうに STEP ボタンを押します。

STEP ボタンを押すごとにフレームを先に進めます。

STEP

通常再生に戻すには
エンターボタンを押します。

⚠ MP3CD にはこの機能はご使用出来ません。

ディスクの再生

スローモーション再生

再生中にスローボタンを押すと本製品は下記のスピードでスローモーション

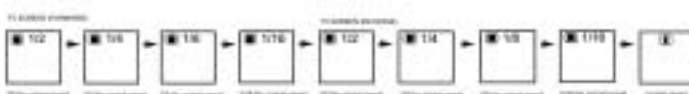
再生が可能です。スローモーションボタンを押すごとに、下記スロー再生

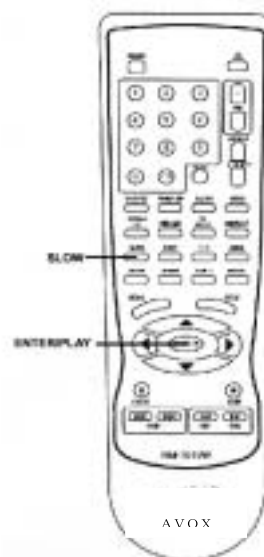
速度に変化します。

2/1 倍速　1/4 倍速　1/8 倍速　1/16 倍速

通常スロー再生

1/2 倍速　1/4 倍速　1/8 倍速　1/16 倍速　通常再生

反転スロー再生

スロー再生より通常再生に戻る場合は、ENTER ボタンを押します。

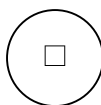
通常再生に戻るには、エンターボタンを押します。

⚠ スローモーション再生中の音声は出ません。

MP3　CD/CDDA にはこの機能は利用できません。

再生ポジション復帰機能

本製品は再製中にストップした場所から再生機能を備えています。

STOP

1. 再生中に STOP ボタンを押します。

2. ＥＮＴＥＲ／ＰＬＡＹボタンを押します。最後に再生をストップした場所より再度再生します。

⚠ 下記の状況では、再生ポジション復帰機能はキャンセルされます。

・ STOP ボタンを押した後に電源プラグを抜いたとき。

. ディススクを取り出した時

・ ペアレンタルロックの変更や調整および異なった言葉の設定を選択した場合。

・ MP3CD では上記の機能はご利用できません。